



すすらんだより

ホームページ <http://www.suzuran-hosp.or.jp>E-mail info@suzuran-hosp.or.jp

新年のご挨拶



謹賀新年



理事長 志田 勇人

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年はイギリスの EU 離脱やアメリカ大統領選など世界的に激動の年でありました。今後ますます世界情勢は混沌とするなか、日本の医療業界もまた高齢化、地域医療の危機など非常に厳しい状況が予想されます。しかし私たち登別すすらん病院はこの日胆地域の医療に真摯に向き合い今まで以上に日胆地域の医療に貢献していきたいと考えております。具体的には安全な医療を提供するのはもちろんではありますが、もう一度医療サービスを根本から見直し、患者さんやそのご家族への接し方、病院の設備環境、雰囲気などあらゆる「質」を高めたいと考えております。そのためには職員間のチームワークも重要になってくると思いますので「和」も重視したいと考えております。

この「質」と「和」をキーワードに今年は職員一同励んでまいりたいと思います。また今年より人工呼吸器装着患者様の長期入院受け入れを開始しました。慢性期の人工呼吸器患者様の実績を備える札幌ライラック病院との連携により、この日胆地域でより良い人工呼吸器患者様のケアを実践していく所存でございます。

本年もよろしく願いいたします。

医療法人登別すすらん病院

理事長 志田 勇人

安全で質の高い医療の提供に向けて

昨年10月15日の午前10時より、登別すすらん病院内において「医療安全グループ病院連携会議」が開催されました。

医療安全管理について、関連医療機関同士がお互いの経験を活かし情報共有することで相互の医療の質を高めていくことを目的として、2014年よりはじまったこの連携会議ですが、第3回目をかぞえる今回は、札幌市より「札幌ライラック病院」と「宮の森記念病院」が、道東の釧路市から「釧路中央病院」と「東北北海道病院」が、北海道外の青森県からも「黒石厚生病院」と「青森厚生病院」と、当院を含めて関連医療機関7病院、総勢16名が参加し、医療安全管理に関する様々な情報交換を行いました。



連携会議の様子 ①

今回の連携会議では、以下の2つをメインテーマとして、約4時間にわたる意見交換を行いました。

ヒヤリハット事例の収集

ヒヤリとしたりハットした事例を収集・検討することで、医療の安全を向上するための取り組み

ダブルチェック

人間の作業においてミスをなくすることはできないという考え方から、複数回または複数人で作業手順などの確認を行う取り組み

登別すすらん病院では、関連医療機関との相互の協力のもと、地域のみなさまに安心・安全な医療をご提供するために、これからもよりいっそう積極的に研鑽してまいります。

(登別すすらん病院 医事課 室木世界)



司会進行席の

当院看護部長の小川 (右)

担当看護師長の大西 (左)



連携会議の様子 ②



医療法人

登別すすらん病院

〒059-0027 登別市青葉町 34 番地9

電話番号 0143 (85) 1000 (代表)

診療科目：内科・消化器内科・リハビリテーション科

診療時間：平日 午前 9:00～12:00 午後 13:00～17:00

